



YOSHIO YAMADA
YOSHIO YAMADA
YOSHIO YAMADA

へうげモノ

Hyouge Mono 15

山田芳裕
YOSHIO YAMADA

へうげモノ
Hyouge Mono 15
YOSHIO YAMADA



9784063871289



1929979005436

雑誌 42673-28

ISBN978-4-06-387128-9

C9979 ¥543E (0)

モーニングKC 講談社

定価：本体543円(税別)

ムカシ、チャンユトヨッドニ、イッダマシュオットラレタセンゴッノサムライタイショウデ、フルタオリベチュウヒトガオイヤシタ、オリバドンハ、ウンマレナガラピンタヨカッタオダンノブナガサアカラ、ワッセエフトカウナコエタウゼケンヲユッカセラレ、チャノカンサアジャンタセンノリキユドンカラハ、ワッセエカフケココロンサガラユッカセラレヤシテ、「ヘウゲモン」ヘノミチュヒツパシヤシタ。センゴッノコウシエンデキメンタカイノ「セキガハラ」ガ、マツナゲタガブレイボールデゴウス。コイマデミタコンノナカナツクルボーラーチュウオリベノ、クウキヲネンソノギコサツダスナグワサガハジケヤッタ。「ワビ」ヘノメブツモイットツノコッゴウシタ、ザンネンナコチ、イシダンミツナリドンハ、ケイバンシズキナイヤシテ、キエツシモワレモシタ、イキツカケシンカ、サムライカチャノミツカ、ソイガホンノコデマスマスキガトオナイヨナオゴトデゴウス!!

茶の湯と物欲に魂を奪われた戦国武将・古田織部。

天才・信長から壮大な世界性を、

茶室・千利休から深遠な精神性を学び、

「へうげもの」への道をひた走る。

戦国甲子園決勝戦、「関ヶ原」ついにプレイボール。

播代のナツクルボーラー、ORIBEの真空投法炸裂。

「わび」への目覚めも来る間、三成は刑場の露と消ゆ。

生か死か、武か教か、それがますます関絶大問題だ!!



伊藤 忠雄 斎藤 孝 山田 芳裕 山田 芳裕 山田 芳裕
Iwata Tadayoshi Saito Taka Yamada Yoshihiro Yamada Yoshihiro



古田織部と石田三成はどちらも
春屋禅師に師事していたので、
墓は同じ寺にあり、
昔は並んで置かれていたようです
この二人がつるむような史料や逸話は
ほとんどありませんが、
嗜好が遠くであろう者達がいかような
接し方をしていたのかを想うと、
感慨深いですねえ

山田芳裕





山田芳裕
YOSHIHIRO YAMADA

講談社

ト ヨ ト ミ フ ヨ ロ シ ク
10410304649

とまらぬ 織部の大犠飛に、家康が吼えた。
たまらぬ 関ヶ原、大決着にて候。ヨロシク

名盤確定。Cro-magnon×Hyouge Mono「乙」。

既刊1~14、大数奇発売中! 7月25日極乙発売!

TVアニメ版、NHK総合で再放送中 全15曲も入って、いまだき定価2000円也(税込)



へうげモノ15 モーニング KC 2128
387128-9



Osabe Furuta
Satarou Ueda
Nagayasu Ohkubo
Mitsunari Ishida
Ieyasu Tokugawa

へうげモノ

TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE.

KUONSHA



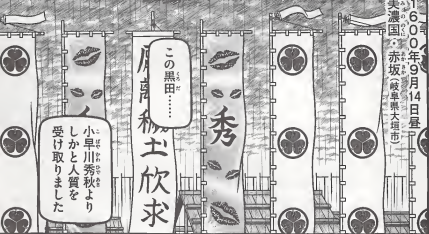
Hyouge Mono

15 月報

山田芳裕
YOSHIHIRO YAMADA

ムカシ、チャンユトヨツドンニ、イッタマシユオツトラレタセンゴツノサムライタイシヨイデ、
フルタオリベチュウヒトガオイヤシタ。オリベドンハ、ウンマレナガラピンタンヨカッタイダンノブナガサアカラ、
ワッセエフトカウンヲコエタウセケンヲユッカセラレ、チャノカンサアジャンタセンノリキュウドンカラハ、
ワッセエカブケコロンサカラユッカセラレヤシテ、「ヘウゲモン」ヘノミツヒツハレイヤシタ。
センゴツノコウシエンデキメンタタカイノ「セキガハラ」ガ、マツナゲタカブレイボールデゴウス。
コイマデミタコンノナカナックルボーラーチュウオリベノ、クウキヲネコノキコサツタスナケワザカハシケヤツタ。
「ワビ」ヘノメブツモイットツノコツゴワシタ、ザンネンナコチ、イシタンミツナリドン、ケイバンシスキナイヤシテ、
キエツシモワレモシタ。イキツカケシンカ、サムライカチャノミツカ、
ソイガボンノコデマスマスキガトオナイヨナオオゴトデゴウス!!

1600年9月14日 昼
美濃国・赤坂（岐阜県大垣市）





第一百五十四席

September Rain



家康様いえやすさまに食べられ
そうだとわ 作介殿
……

聞かれたら
てっぽうを喰らう
わよ 重近殿しげちかっ



怖い……



黒田殿を信じぬ
わけではないが
……

小早川らが
我らに付くとは
いまだ思えぬ



御再考を
家康様！

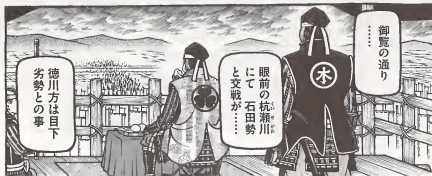
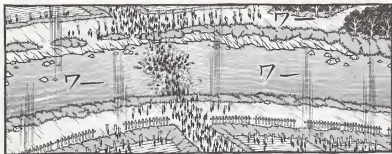
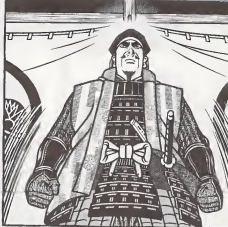
秀忠様ひでゆきが来ぬ内に
関ヶ原関ヶ原を抜くは
危あやうございます！

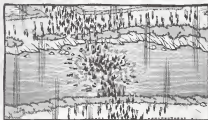


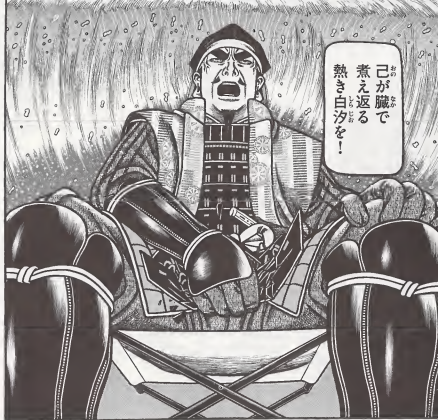
左様！

小早川らが
関ヶ原関ヶ原に布陣して
おる間に……

石田のおる
大垣城おおいのきを攻めるが
得策！







おの
ろが
臟で
煮え
返る
熱き
白汐を！

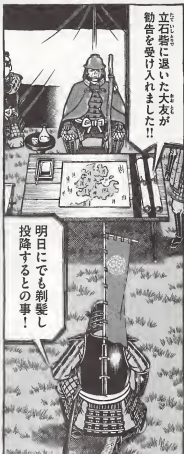
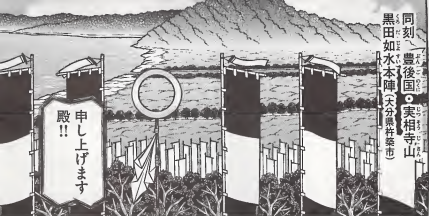


明朝関ヶ原へ
進軍す！

石田方へ
その旨を漏らせ
！

野戦へ持ち込む
ためにな！

同刻、豊後国・実相寺山
黒田如水本陣（大分県杵築市）





この如水が
狙いは
あくまで天下

上方での戦の
勝者こそ……

最後の敵と
なろう



今は石田派潰しで
繁こうております
が……

石田派が負ければ
互いに動く理由も
無うなりますれば



本州まで
攻め入るならば
……

清正様らが同調
してくれるか
どうか……



その時こそ
好機……



石田方は易々
とは負けぬ

戦は長引き
共に疲れ 乱世へ
遡る事態となろう

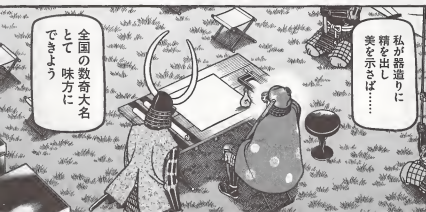


かつての秀吉の如く
乱世の終結を大義に
攻め上がらん

「日の本惣無事」の
御旗には 清正ら
も黙しておれぬ



幸い石田も徳川も
数奇に疎い……



私が器造りに
精を出し
美を示さば……

全国の数奇大名
とて 味方に
できよう

同日夕刻 美濃国・
大垣城 岐阜県大垣市



俺は首二つ
獲ったぞ!!

大善
大寺

大善
大寺



なに
わしなど
三つよ!!

徳川なぞ
恐るるに
足らぬわ!!

家康が赤坂に
おるは確か!

明日にも関ヶ原
へ進軍するとの
密報が!

杭瀬川にて
よう勝った
島!

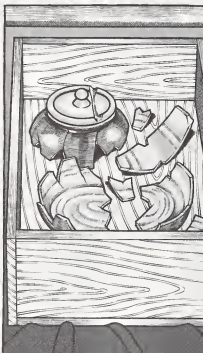
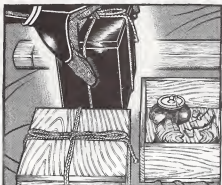
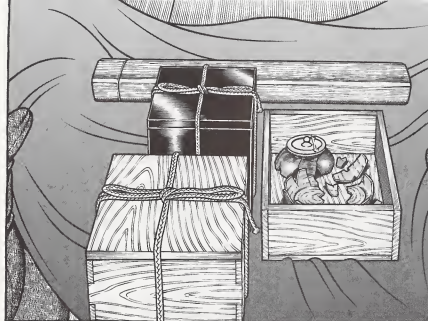
小早川・大谷・
毛利秀元勢が
すでに関ヶ原に布陣
しておる!

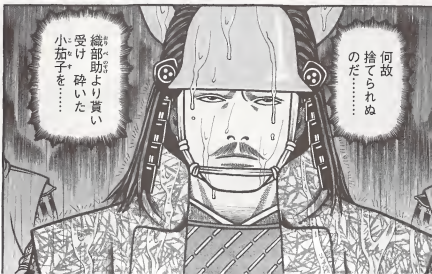
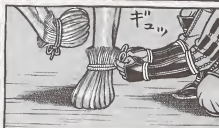
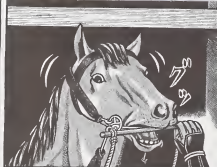
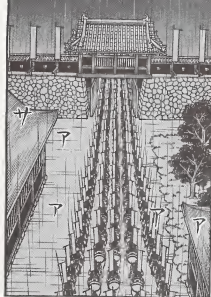
我らも夜には
出陣し 家康を
迎え討つ!!









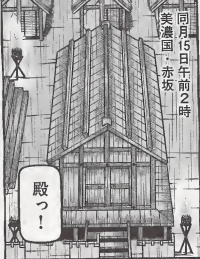


何故……

織部助より貰い
受け 砕いた
小茄子を……

何故
捨てられぬ
のだ……

同月15日午前2時
美濃国・赤坂



殿っ!

御目覚めを
.....!

石田らの大軍が
大垣城を出発
したとの報が!





古織は
どうした
重嗣よ!!



お前の親父が
来ぬと……

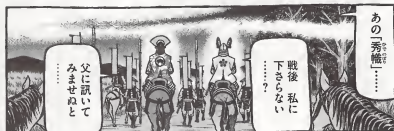
我ら寄合勢の
数がさらに
少のうなる!

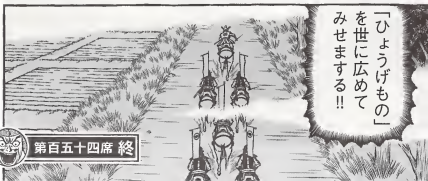
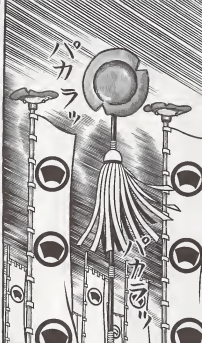
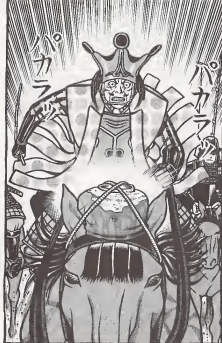
まもなく合流
するはずかと
……



落ち着いて
下され
有楽斎様っ

寄合勢には我ら
金森兵一千余も
加わりますゆえっ

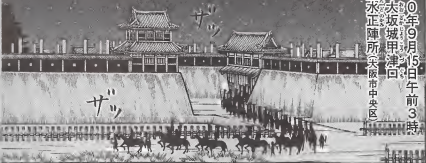




1600年9月15日午前3時

大坂・大坂城甲津口

上田主水正陣所(大阪市中央区)



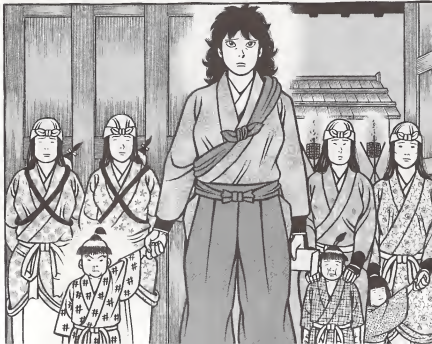
数奇者^{すきしや}としては
まだまだ青いわ
……

ここに残る
決断をした
その方らの事は
恨まぬ

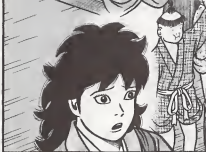
第百五十五席

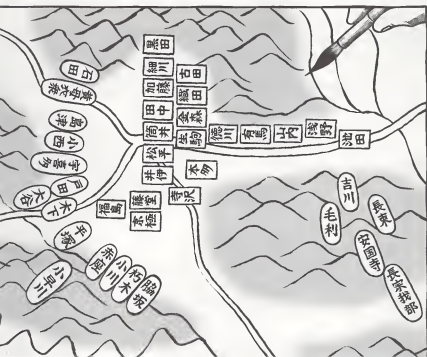
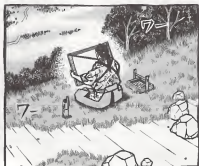
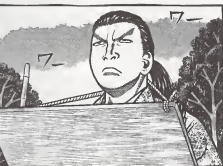
横綱トリッパー



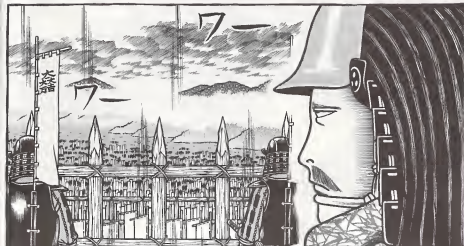
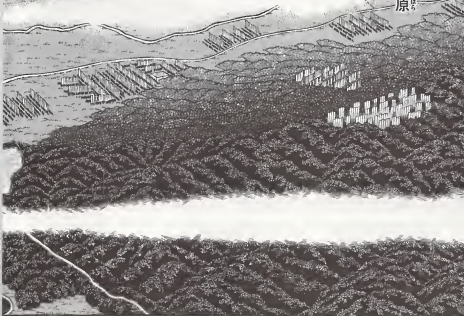


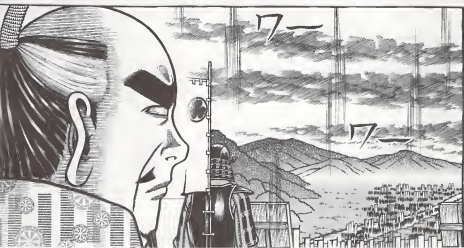
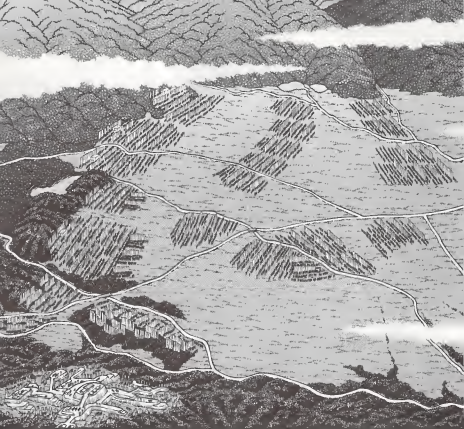


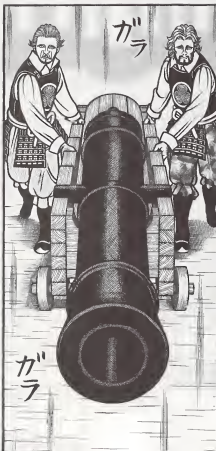
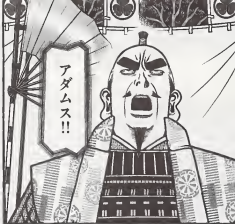


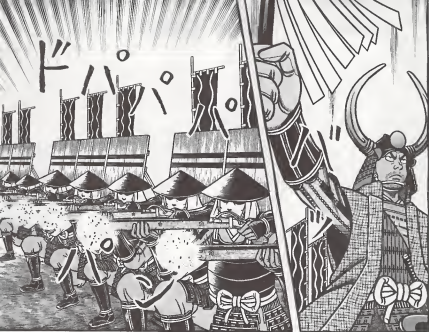


同日午前8時
美濃国・関ヶ原^{せきがはら}
(岐阜県関ヶ原町)







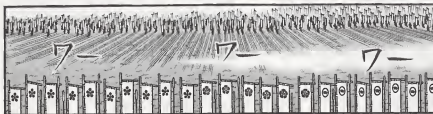


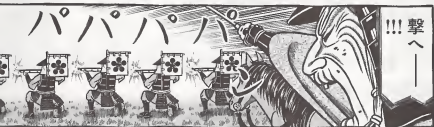
宇喜多の陣へ
突撃——!!!

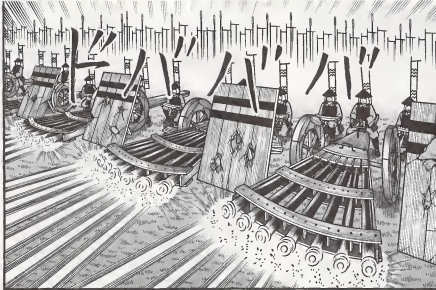


先鋒の譽を
井伊なぞに許す
な——!!!

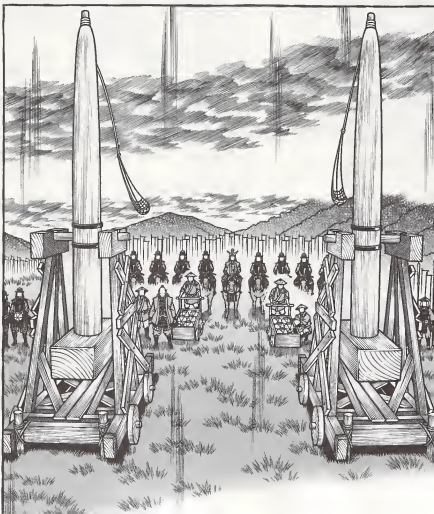
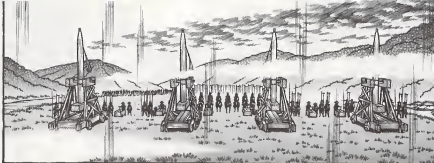
我が福島勢が
一切の首を
頂くのだ!!!

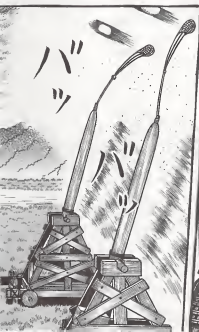


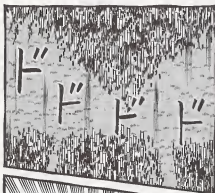


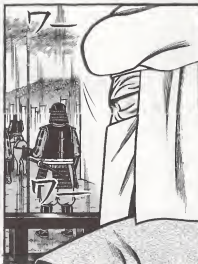
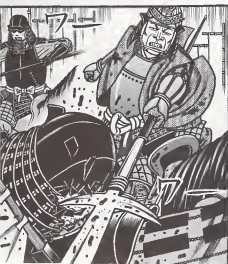
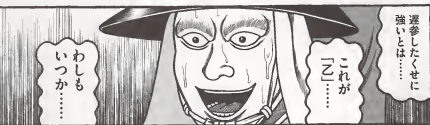














戦況をば
徳川様!!

大谷や島の奮闘で
東軍は押されて
おります!!

何分 霧にて
全ての把握は
難しく……!!

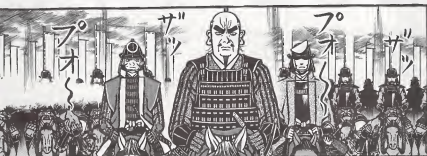
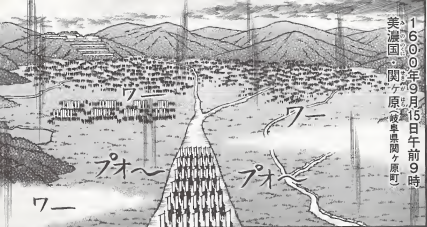


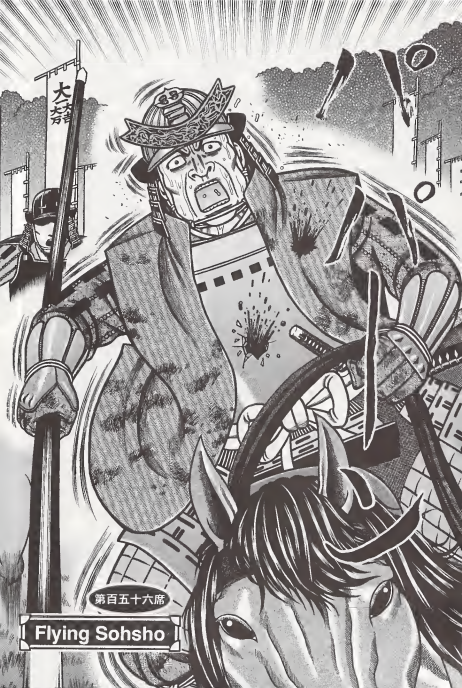
徳川本軍も
前進せん!!

是が非でも
大坂へ
突っ込む!!



1600年9月15日午前9時
美濃国・関ヶ原（岐阜県関ヶ原町）





第百五十六席

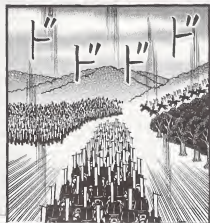
Flying Sohsho



島様!!!

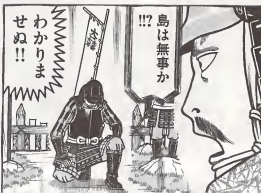


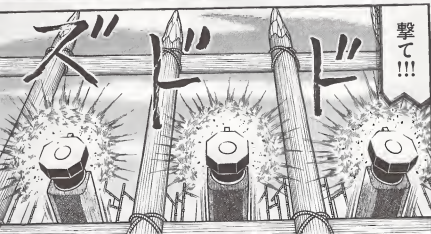
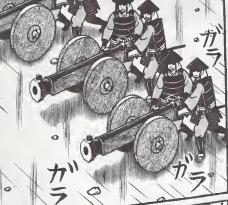
この機を逃さず
石田陣中へ攻め
込む!!

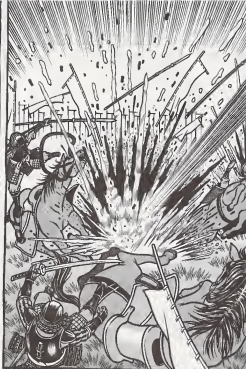
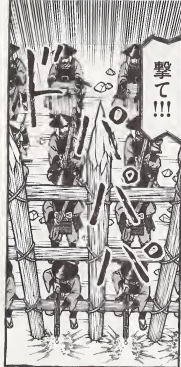


はい
黒田様!!

間違い
なく!!

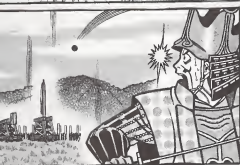
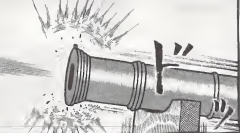


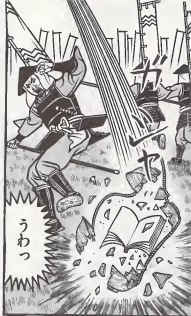
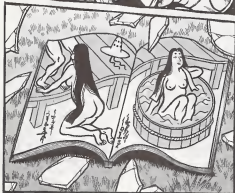


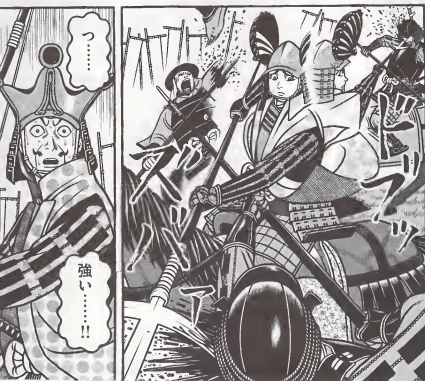


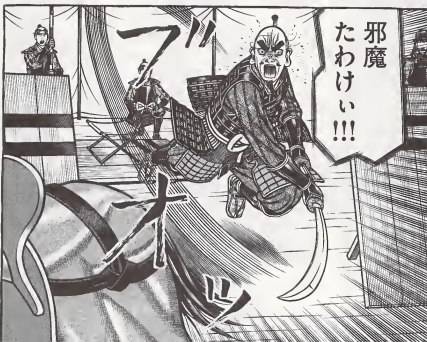
※鉄砲を続けざまに撃つこと

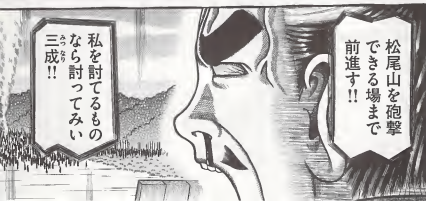
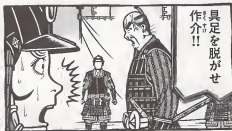


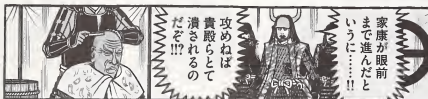
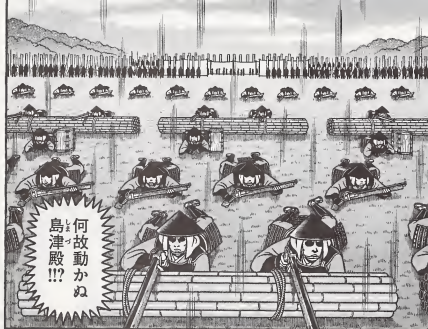


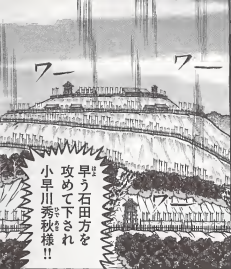


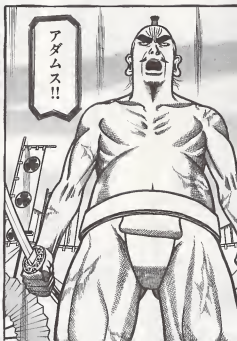


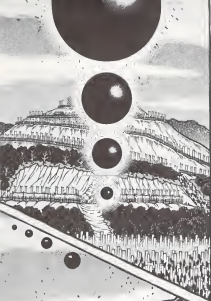










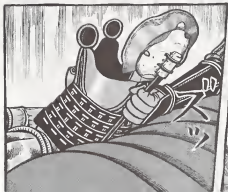
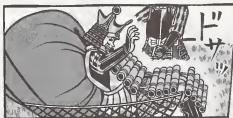
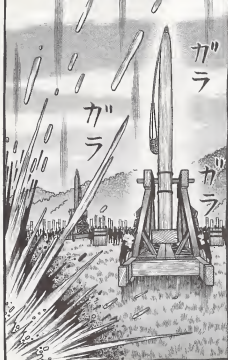


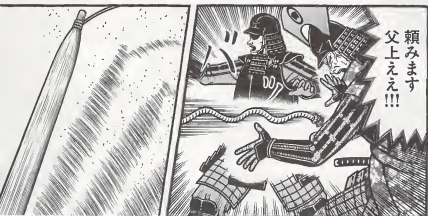
避けろ
おおお!!!

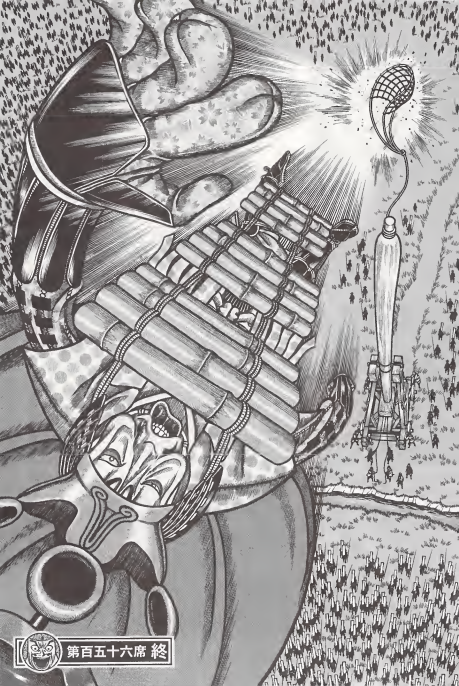


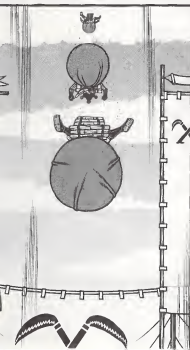
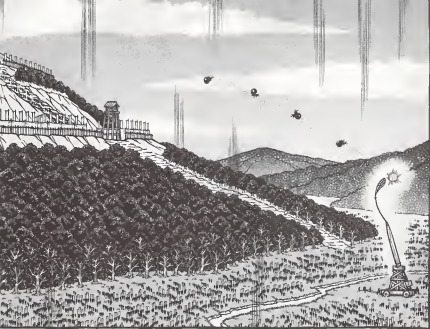


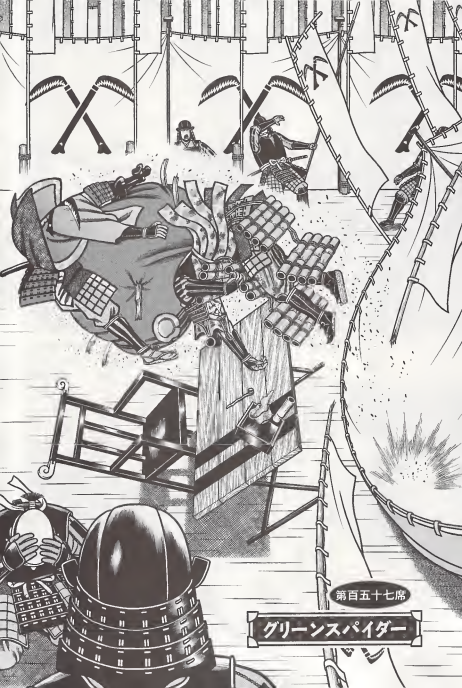






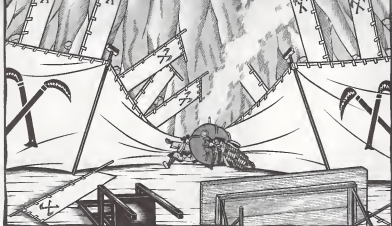




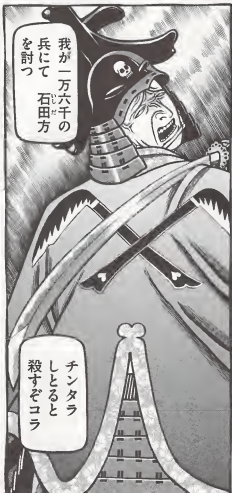


第百五十七席

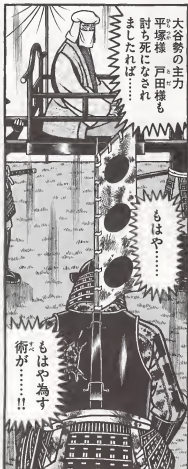
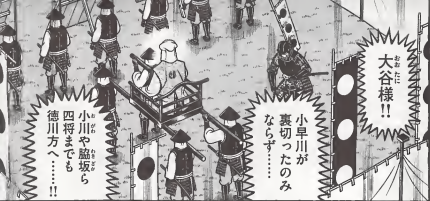
グリーンスパイダー

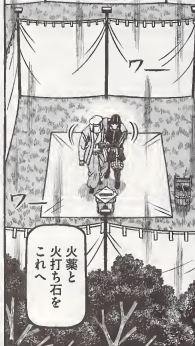




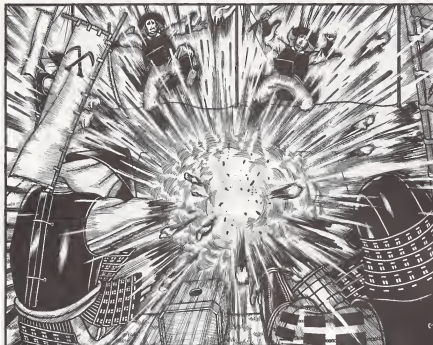




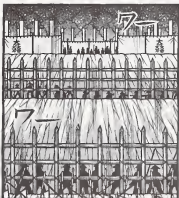














石田ア……

パカッ

パカッ



殿!!!

タッ

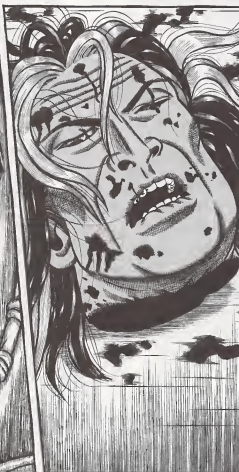
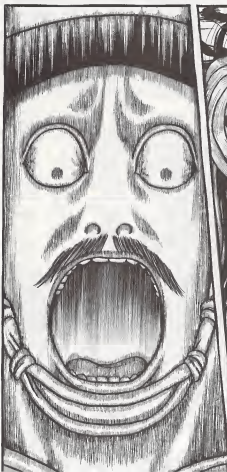


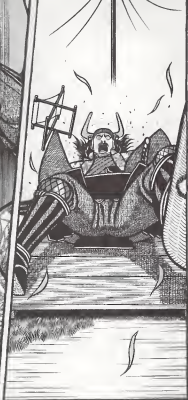
利休居士の
怨み……

我が妻玉子の
怨み……



思い知りや
あああ!!!





だめだ!!

指揮をとれる
体ではない!!



殿っ!!!

お気を確か
に殿オ!!

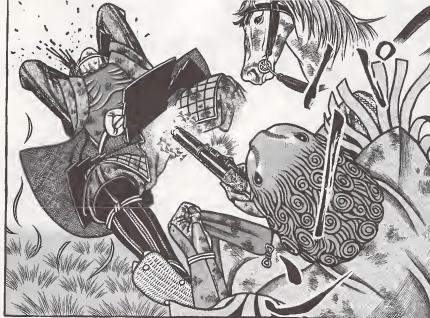


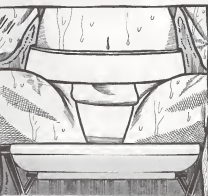
早う伊吹山
へ!!

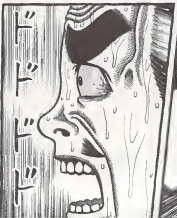
殿の身だけは
死守せねば!!

















危のうござい
ました 徳川様
!!

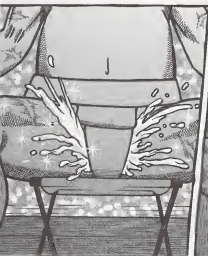


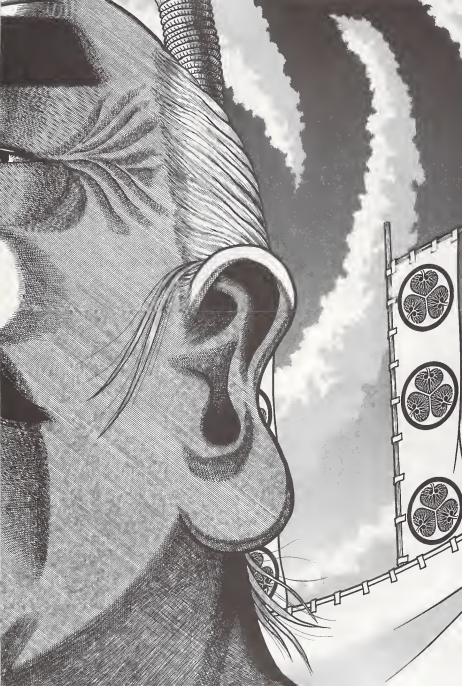
徳……

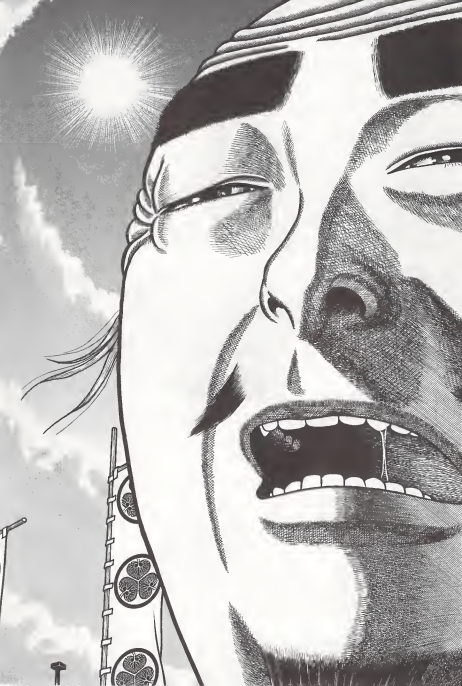


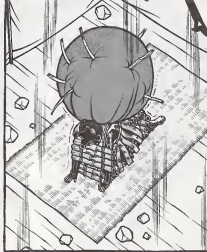
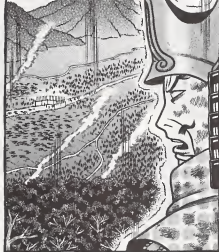
本陣をかすめて
逃げたぞ!!!

追ええ
ええ!!!

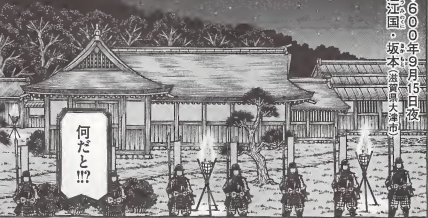








1600年9月15日夜
近江国・坂本(滋賀県大津市)



殿は東軍の前田利長
と和睦を決めた
ゆえ……

我々が小松城へ
の援軍は要らぬ
……と

第百五十八席

ぼくたちは失敗





その場その場で
己が都合の
良い方に付けば
良いのだ



俺は……

俺は何と
間抜けだった
のだ……

宗匠の如く
乙将^{ちしやう}に徹して
おれば……



この先如何
致します……

このまま
では……

西軍の残党と
して追われる
事に……!!

丹羽様が使者の
申す通り……

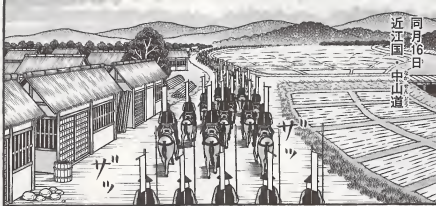
徳川様に
詫びるほか
あるまい……



俺は兵庫の
馴染みの寺へ
行く!!

頭を丸め
徳川様に
会わん!!

その方らは
我が妻の杉原家
へ逃れい!!

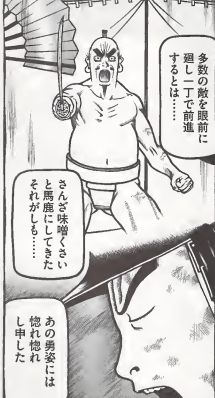




今後我が權も
改良しよう
ござる！

余分な布なぞ省いた
廻しの如き潔いもの
に！

では！



多数の敵を眼前に
廻し一丁で前進
するとは……

さんざ味噌くさい
と馬鹿にしていた
それがしも……

あの勇姿には
惚れ惚れ
し申した



身体も若い
が頭も若いのう
……



俺は今度の手柄
で精一杯よ……

小早川の陣へ
お前を飛ばした
事も含めてな

ちと
待たれい



金森鎗を止め
お前を選んだは
俺よ

何を申
……っ



いつ

まあよい
……

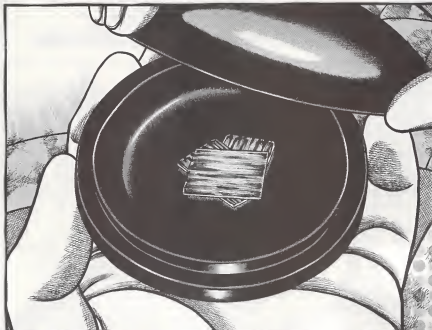


あれは
私の手柄に
ござろう

徳川様に
いかように
報せ申した!?



小早川の陣にて
良い物を拾うた
ゆえ……





太閤様より賜った物を
秀秋様が持って来た
のであらう……

身体を張って
苦労した甲斐が
ござった



こ……この香りは
香木「蘭奢待」!!

信長が焚いておる
のを 嗅いだ事があるぞ!!



私とて数奇の
天下人……

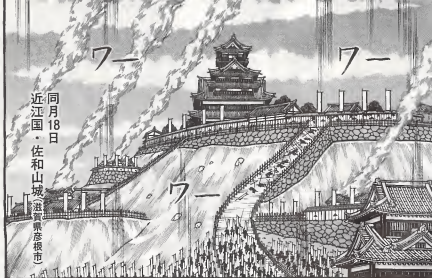
名実伴うは
これからだが
……

俺が持つに
ふさわしくないか
……?



楽器の「貸し」を
返してもらうて
ないぞ古織

……早う数奇に
現を抜かせる世に
ならぬかのう



同月18日

近江国・佐和山城(滋賀県彦根市)



我が贈り物を
しかと届けて
くれ……

御茶頭様
にな

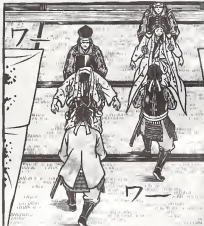
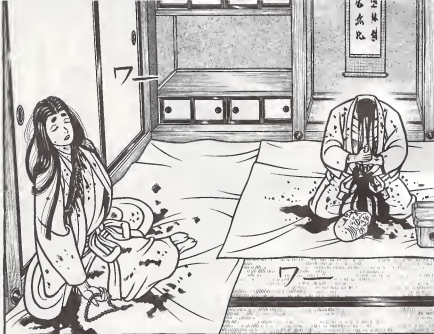


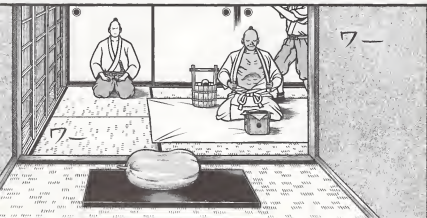
もはやこの城を
守りきれぬ！

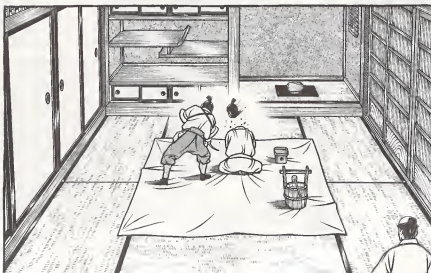
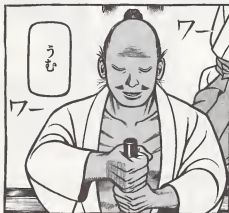
石田家がけじめ
はこの正澄が
引き受けた！

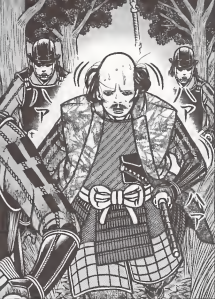
心置きのう
徳川方に身を
預けい！









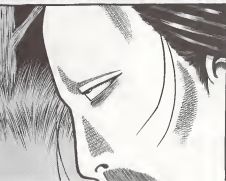


同日
近江国・伊吹山中



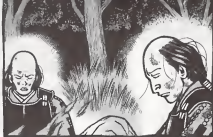
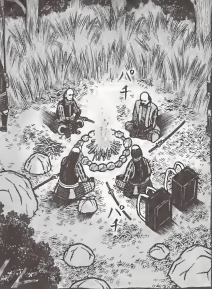
ここまで
逃げれば
追っ手も来ま
せぬ……

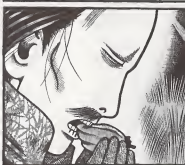
腹の調子は
治りましたか
石田様……



すまぬ……







石田陣中に
投げ込まれた柿
です……

我らが目をやる隙
に撃たんとした
のでしょうか……

まったく……
織部助は手勢まで
滑稽で……



夜が明け
まする

落武者狩りに
遭わぬよう
古橋村へ逃げ
ましょう

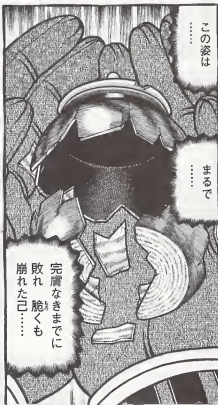
旧領ゆえ
気心知れて
おりますれば



私は……

強引に心の片隅に
追いやっていた
己が弱さを……

脆さを……



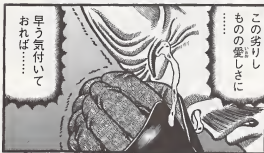
この姿は
……

まるで
……

完膚なきまでに
敗れ 脆くも
崩れた己……



この小茄子に
見ておったのだ
……

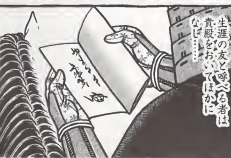
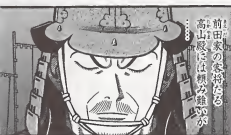
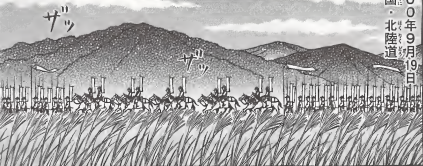


この劣りし
ものの愛しさに
……

早う気付いて
おれば……



1600年9月19日
越前国・北陸道



何卒私の託で
新しき国造りに
力を貸して頂さたく

自らの所在が
定まり次第
またお報せ致す

第百五十九席

H jungle with T



良き助言を貰い
敗軍の将とならず
に済んだ……

大津へ着いたら
徳川様にも
その事を伝える
つもりぞ



いや
高山殿……

この前田利長
改めて礼を申す



全ては神の
御加護にて

いずれ余裕が
できたら
貴殿に城一つ
預けようござる



すまぬ
小西殿……

貴殿の恩には
報いたいが
……

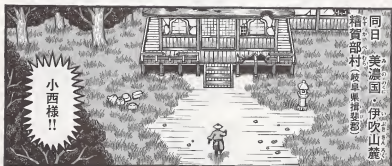
今の私には
前田様の恩が
重い……





何とか……

何とか貴殿の
妻子や家臣だけは
お救い致す



同日 美濃国・伊吹山麓
稲賀部村（岐阜県掛籠町）

小西様!!



！ 出立の用意を

大垣からの
便りが届いて
何より！



来てくれた
か!!

イスパニアの
使者がここへ!!





それでは
うまくいかぬ
ぞ!!!

私がおらねば
貿易も布教も
領土も……

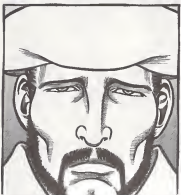
この国と
取り引きする事
叶わぬ!!

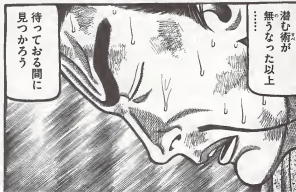


それについては
良き御人が
見つかりました

あなた以上に
務めてくれそう
ですよ

家康公の家臣
大久保長安殿は





自害はせぬ
……

自首した後は
天命に委ねん



同月20日
近江国・古橋村・滋賀県長浜市

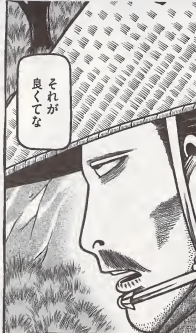
茶の用意が
できました
石田様







それが
良くてな



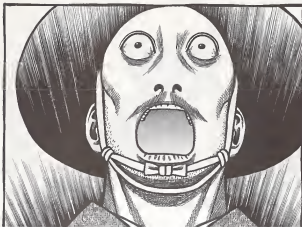
左様な「わび」が
おわかりになる
なら……

一安心致し
ました

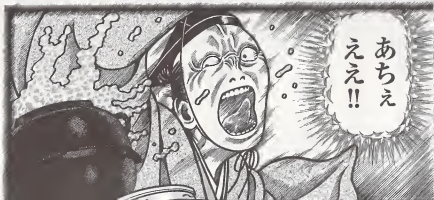
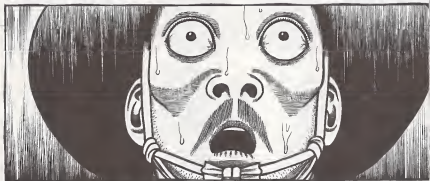
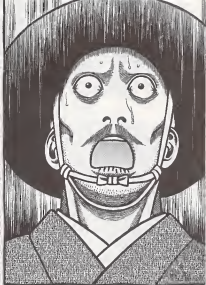


自慢の茶屋に
ございますが
……

石田様程の御方
に失礼では
ないかと不安で
……





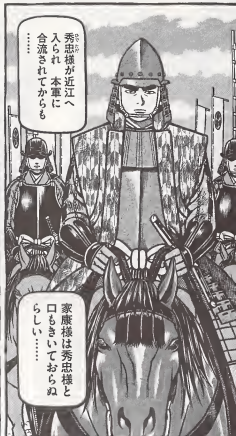








同日 近江国
大津城（滋賀県大津市）





家康様に
会えぬと
なると……

伏見へ行く
要請もできぬか
……



どういう
事ぞ？

わからぬが
……

しばらくの間は
誰とも面会されぬ
よう……



依然 人質の
妻子も心配だが
……

焼かれた
伏見城山里丸も
心配でたまらぬ
……



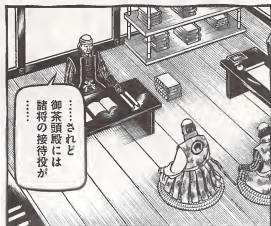
作介殿は残念に
ござった……

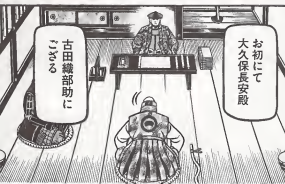
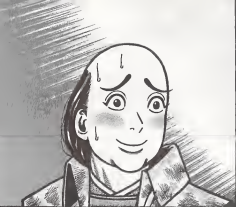
名譽の死として
心の整理は
ついております
……



ようこそ無事で
御茶頭様

これは
小堀新介殿っ







貴殿が付いて
下されば 接収も
鬼に金棒！

なんだって
茶頭筆頭！

嬉しさドン！
さらに倍！

ウツツツ



なんだって
！

ウツツツ



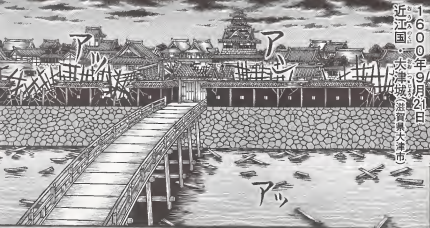
ウツツツ



これが鉅脈の
目利きとして
知られる男……

胡散臭過ぎる
のお……

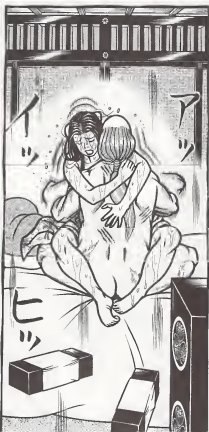
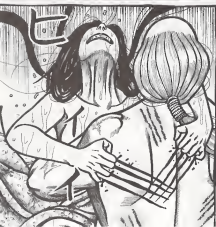
1600年9月21日
近江国・大津城(滋賀県大津市)




ご主人
後生
ですっ

と……
殿っ

もうっ
……



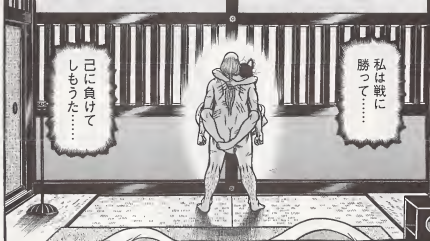


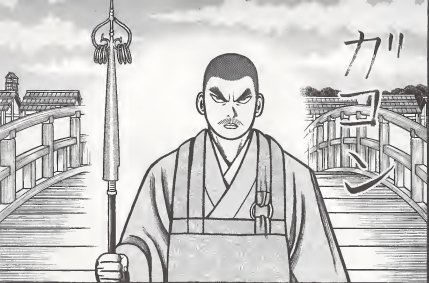
次の者を
呼んでくれ

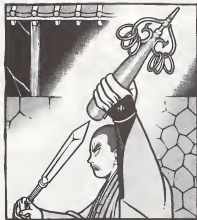
第百六十席

星くずの記憶











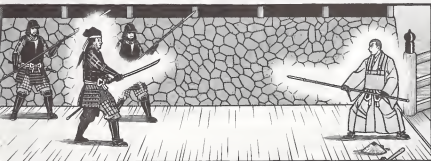
それがしが
お相手致す



出合え

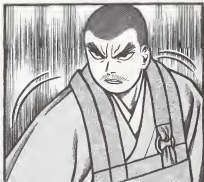
!!!

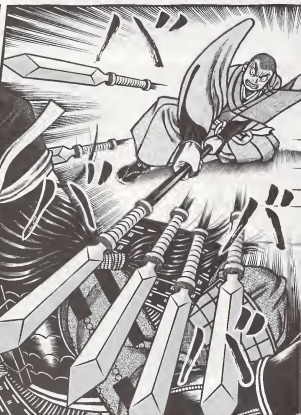
呼ぶな!!

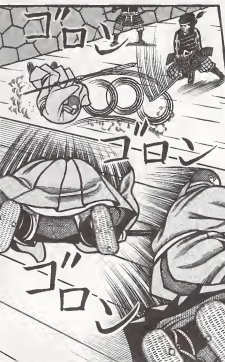
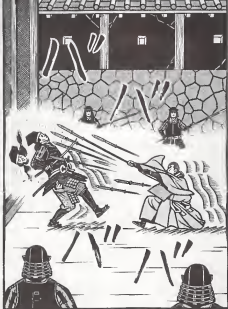
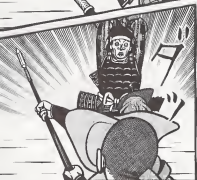


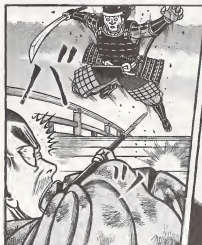
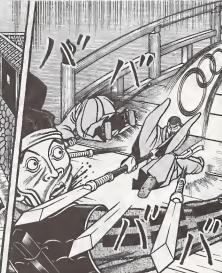
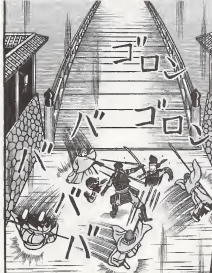
やり合って
みたかった……

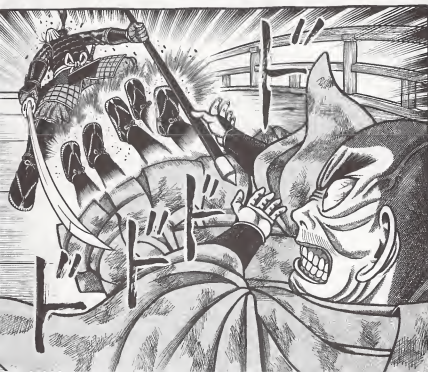
一度……







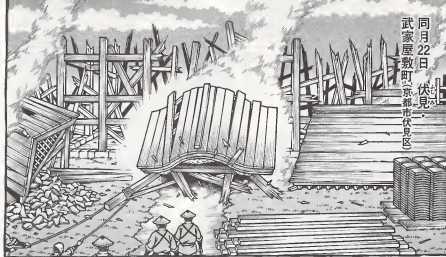








同月22日 伏見・
武家屋敷町(京都市伏見区)



まったく
上田殿は……

西軍に付いたは
致し方ないが
……

何故拳兵まで
してしもうた
……



どこぞで生きて
おると良いが
……

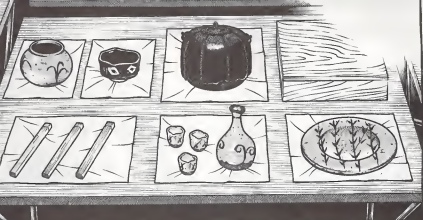
さてと……



上田の屋敷は
片付いた！

次は小西の
屋敷を潰しに
参る!!





上田殿の蒐集物に
今焼が多いは当然
だが……

どこで手に入れた
のか 古き物も
ちらほらある……



恥ずかしげに
「ピヨコ」と勃った
松穂のつまみが
何とも乙な……



特にこの瓜形尾垂釜
は よう選び買った
わい……



これは日頃の
教授代として
……



これら全て
徳川に接収されるは
口惜しいのう……

上田殿への沙汰が
出るまで 私が
預かれぬものか……



他家の物も含めて
まとめ役との交渉
次第よの……



果たして
大久保長安とは
いかなる男……

同日、近江国・
古橋村 滋賀県長浜市



殿……!!

村に東軍・
田中吉政の手勢
が……!!!



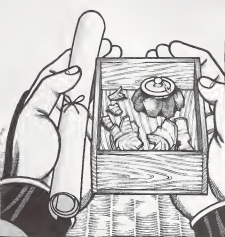
おそらく勘平が
通報したものと
察します!!



早う逃げねば
手勢がここへ
……!!







そしてこれを
この絵図通りに
繙い……



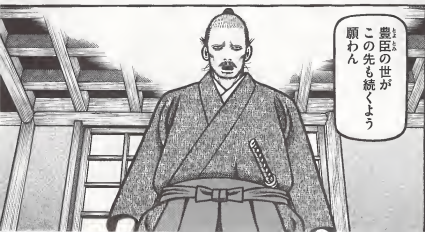
これは……

織部助の
許へ



もはや
数奇のみ

再起叶わぬ
私に残された
手は……



豊臣の世が
この先も続くよう
願わん

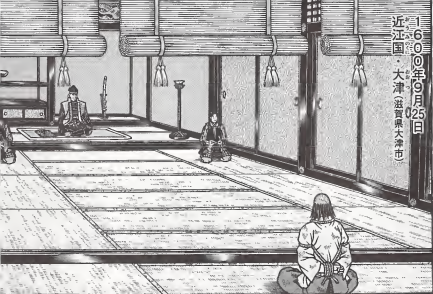


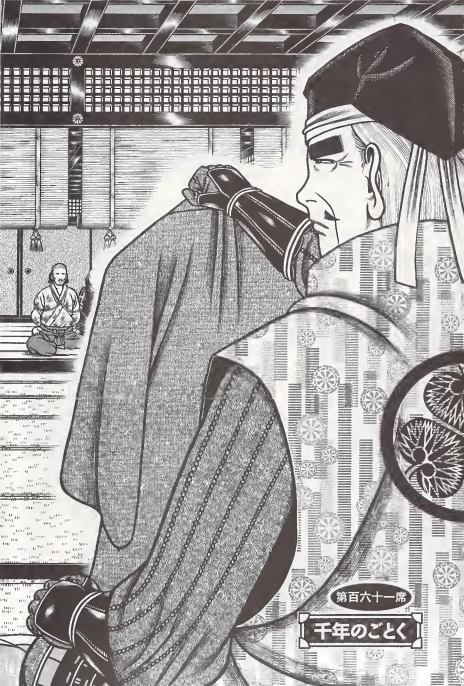
芦間あしまに灯す
かがり火と

ともに消えゆく
我が身なりけり

石田治部少輔
三成

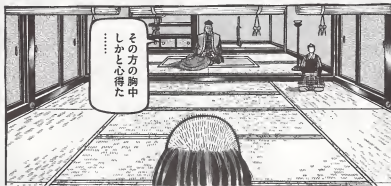
1600年9月25日
近江国・大津（滋賀県大津市）

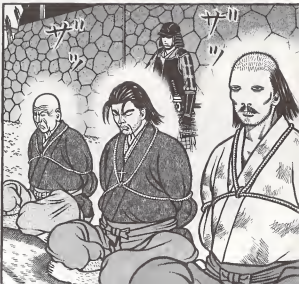
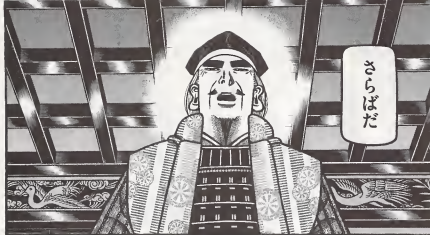




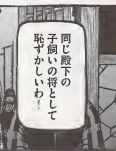
第百六十一席

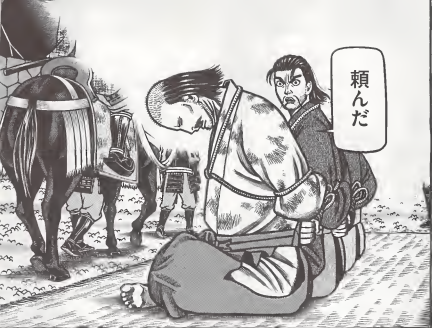
千年のごとく

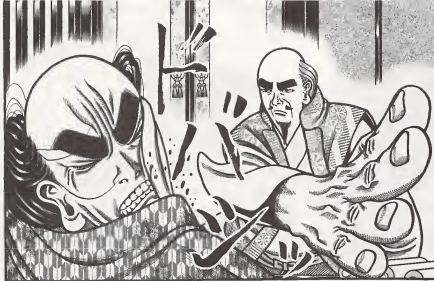














お前をこれ以上
責める気になれぬ
……



いや……
むしろ喜ばしい



若き頃には戦の
苦汁を とくと
嘗めておくべき
……



されど
……



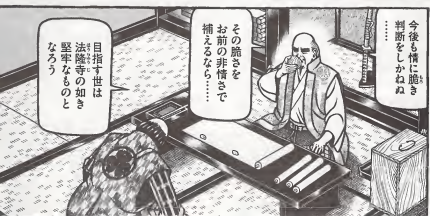
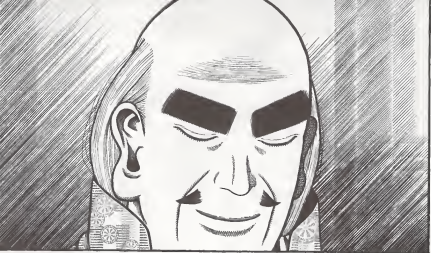
御心遣い
かたじけのう
ございます
……



西軍の総大将に
まで 心遣いは
無用かと

大坂城に居座る
毛利輝元の所領
……何故安堵
なされます？





是が非でも
創るぞ 秀忠

千年も
揺るがぬ
徳川幕府を



法隆寺の
檜材は……

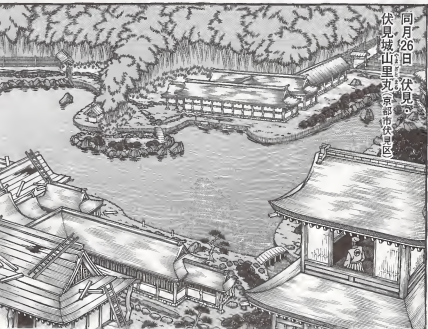
虫も寄せ付けぬ
と聞きまする
……

晉越ながら
この秀忠が檜材
となり……





幕府を蝕む
毒虫を排して
参ります



同月26日 伏見
伏見城山里丸(京都市伏見区)



天守や機つかの
郭が焼けてはおる
が……

この山里丸は
銅瓦を奪われた
のみで済んだか
……



茶屋も庭石も
無事で何より
御茶頭様

さすがに殿下の
居城は荒らせ
なかつたようだ
のう 長安殿……



それなら
ご心配なく!

なんたつて
伊達様に
アマルガム法を
お教えしたは
この私!



ただ あの銅瓦は
南蛮の術を使うた
特別な物……

再び伊達殿に
頼めるかどうか
……





なに……
由来や傷み具合を
じっくり検分せぬ
との……



粗末な物まで
徳川様に御渡し
しては失礼ゆえ
……



つまりは
お預かりの内
に……

これはと想う
名品の幾つかを
差し引き……

残りを改めて
徳川様に渡す
……と？



見損なう
でない

どうやら
同じ穴の貉の
ようで



同じ事を考^{かんが}じて
おりました

目利きでは
ないので
金銀の方で





ただ……あまり
多くは差し引け
ませぬぞ

徳川様も
使うた戦費を
取り戻さんと
血眼ですので



いやいや
それは少な
過ぎる

接収物の一割程
が良いところか
……



三割も……!!!

それでは接収の
責を担う貴殿
諸共危険ぞ!!

バレでも
したら……

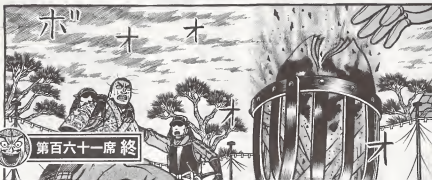


一割五分と申す
か？

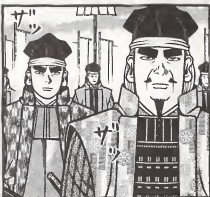
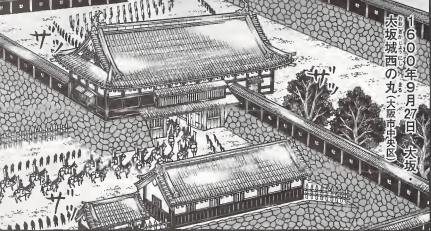
さらに倍！







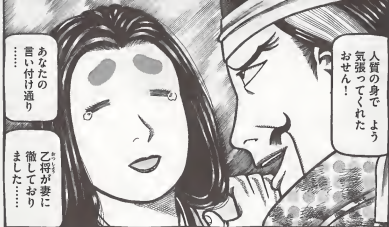
1600年9月27日 大坂
大坂城西の丸(大阪市中央区)





第百六十二席

名物は買わない









ひとまず我が
大坂の役宅へ

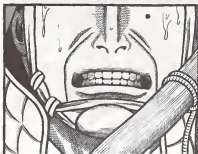
上田殿や手勢が
逃れておるやも
しれぬ

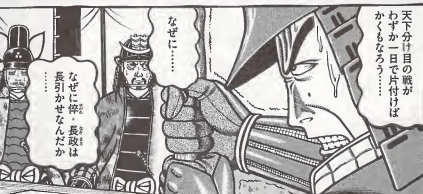
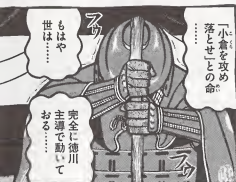


同月28日 九州
豊後国・富来
(大分県国東市)



徳川よりの
書状には
何と……!?





されど
如水様……

長政様の活躍は
黒田の名を
この上無う高め
ました……

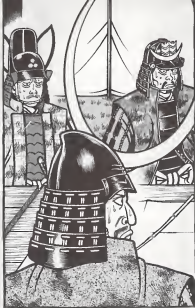
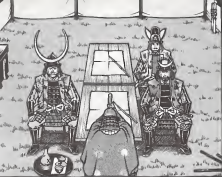
おかげで大幅な
加増は確実……

大名として
機を待ちつつ
天下を狙うも
一計かと

その機が再び
訪れると思うて
か!!

あの家康が
そこまでうつけに
見えるか!!

私が戦場におれば
隙を見て家康を
殺したわ!!



終わった事を
嘆いても
致し方なし……

今後は
夏の火鉢……
早の傘にて……

機を待つ外
ない……

※時季はいつでも我慢して利を得る事




筑前の高取山を
知っておるか？

……は？



兵を雇うに
軍資金の一切を
使っております

まずは蓄財を
優先せぬと
……



長政の連れて来た
朝鮮の陶工が
申しておった

高取には
良い土がある
……と

是が非でも
彼の地を領し
我らが良器にて
財を成さん

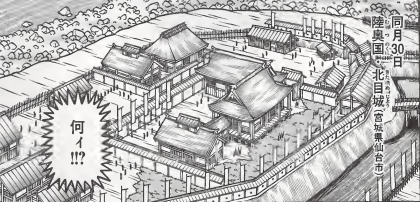


戦なき世の
武器とは
数奇ぞ

多くを味方に
つけたくば
よう心得ておけ

同月30日

陸奥国・北目城(宮城県仙台市)



何イ!!!



ますい……



奥羽全土を獲らんと
仕掛けた一揆や
最上との連携が……

これでは全て
水泡に……



関ヶ原の戦にて
石田方はわずか
一日で敗れ……



徳川様が沙汰を
発するまで
我ら伊達軍に動くな
……と!!



家康に難癖を
つけられても
良いのですか!!!

約束した百万石
をもらえのう
なりますぞ!!!



俺ア
攻め続けるぜ
片倉ア!!!

全ての決着が
付かねエ内に
獲れるだけ
獲ってやらア!!!



これじやア
よオ 片倉ア
.....



これじやア
.....



あの世で蒲生に
なめられらァ……

四海を疾駆す
竜になるどころ
か……

猪苗代湖にすら
泳ぎつけねえ鯉
だつてなァ……



福島城を抜いて
上杉の籠る会津へ
攻めてやらァ……

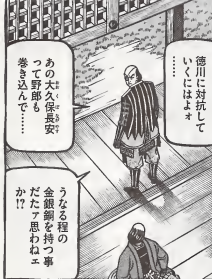
無茶な
……!!



何でもでき得る
乱世に生まれて
……

そんな男に
仕えてエカ
片倉よォ……

あう？



同日 大坂・大津
毛利輝元屋敷(大阪市浪速区)



ま……真に
ごめいます!!

徳川は我らが
伏見落城を祝うた
事など調べ上げ
……

八カ国の所領を
周防・長門の二国
に滅らす……と!!



戦の号令を
義父上!!!

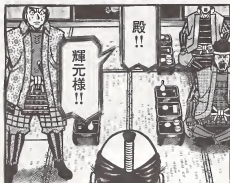
この秀元が
残った西軍を
かき集めます
!!!

糞だぬきめ
ええ!!!

かくなる上は
今一度討って
出ん!!!

殿!!

輝元様!!





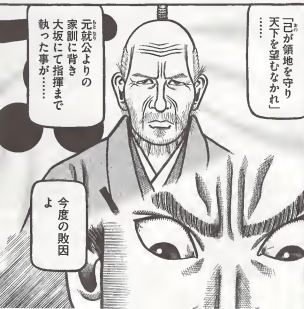
我らは
負けたのだ



毛利家の家訓を
忘れたか 秀元



義父上!!!



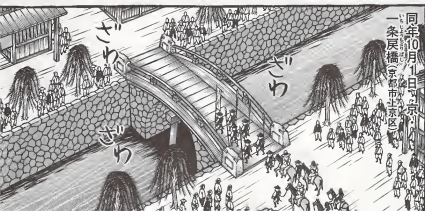
元就公よりの
家訓に背き
大坂にて指揮まで
執った事が……

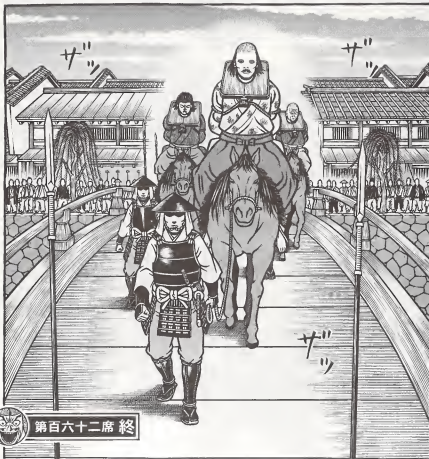
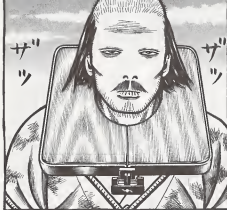
今度の敗因
よ

己が領地を守り
天下を望むなかれ」
……

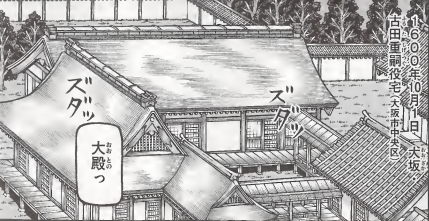






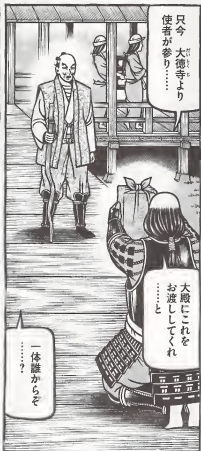


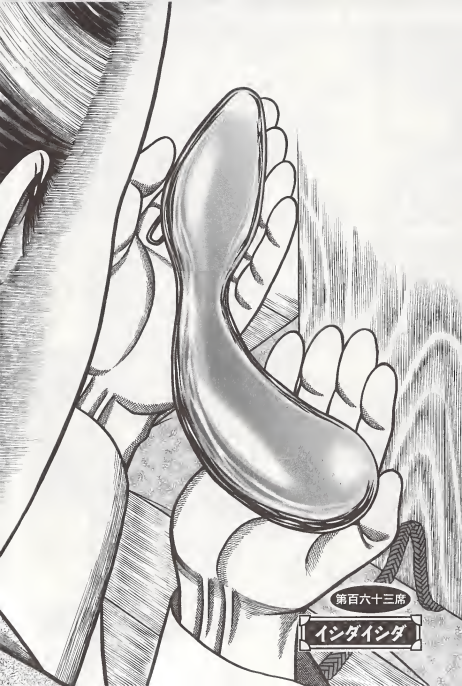
1600年10月1日 犬坂
古田重嗣役宅(大阪市中央区)



スッ

おとの
大殿っ





第百六十三席

インダインダ

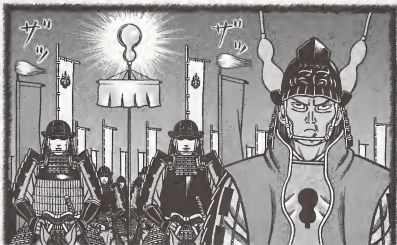
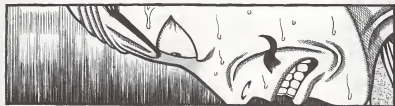
これは 堺での
茶席で飾って
あった……

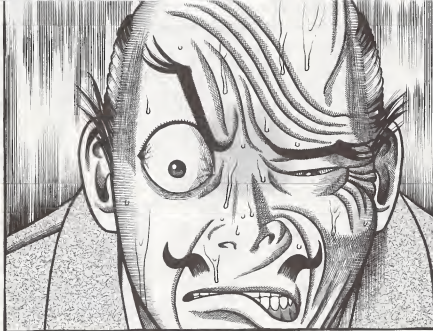
「へのよ」
瓢花入……!!

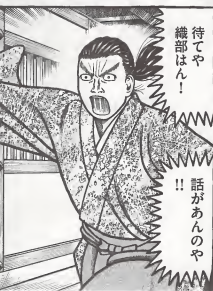
しかも表面には
金箔が……!!

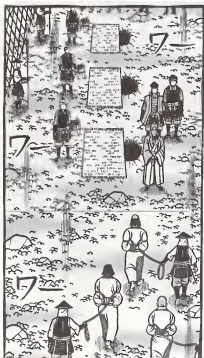
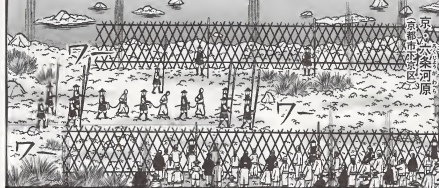
これを
……

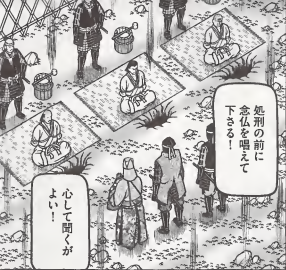
この絶品を
俺に託すと
いう事は……

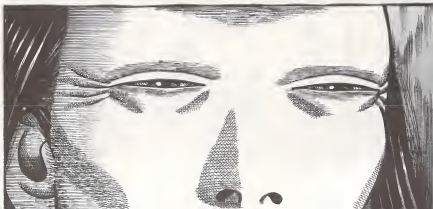


















されど
解せませぬ
……

干し柿には
化痰の効能もあり
身体にも良い事を
……

あの石田が
知らぬはずは
……



要らぬなら
やらぬわ!

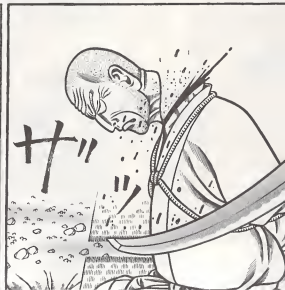
情けは無用の
ようだ!

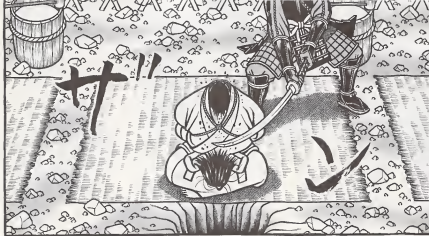
中絶を招かず結果

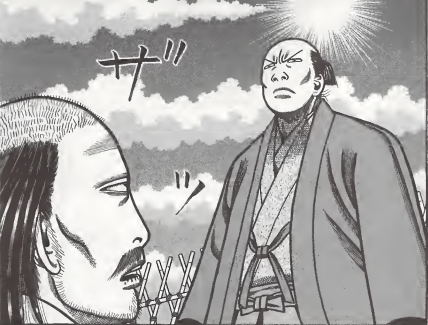


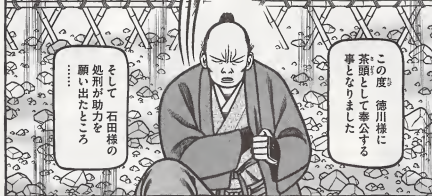
なに……

恐れて頭が
働かぬだけよ



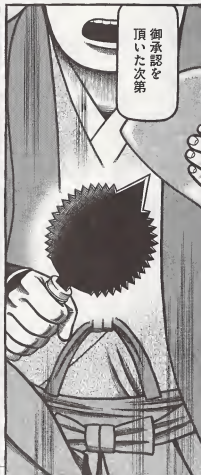




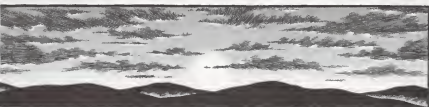
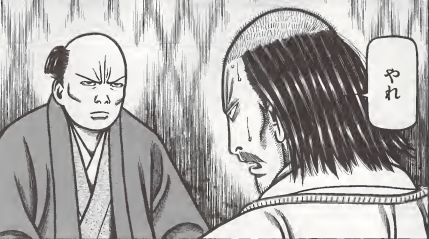


この度 徳川様に
茶頭として奉公する
事となりました

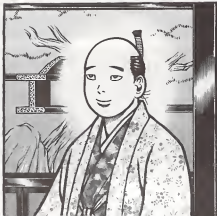
そして 石田様の
処刑が助力を
願い出たところ
……

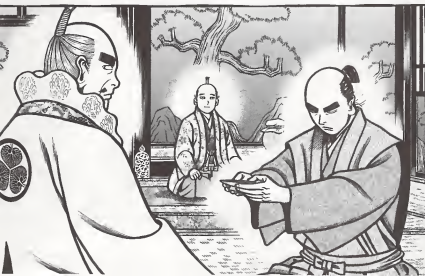


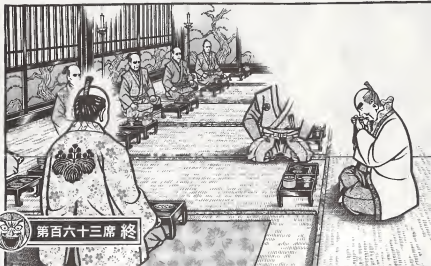
御承認を
頂いた次第



同年10月15日川大坂
大坂城本丸御殿(大阪市中央区)







1600年10月17日 但馬国・
杉原長房居城 豊岡城（兵庫県豊岡市）

「……これは
上田様!!」

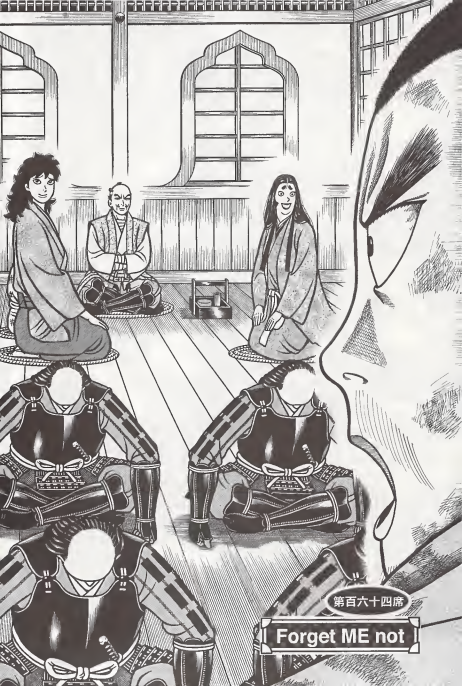
全て心得て
おりまする!

どうぞ
お入りを!

皆様お待ちで
ございます!

長房公に
……

我が妻の弟に
何卒匿うて
もらいたい……



第百六十四席

Forget ME not



そ……宗匠に
おとく!!

おぼろげに
大坂城甲津口におった
お前たち
まで……!



徳川様が
とうとう……

殿へ改易の
沙汰を出され
ました



あの場では
行動を異にしま
したが……

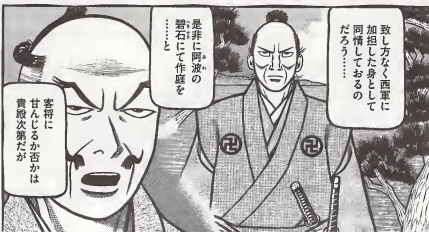
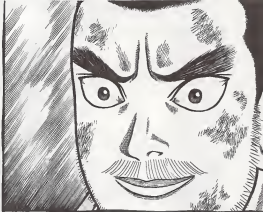
やはり……

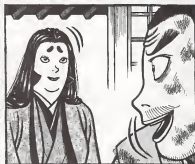
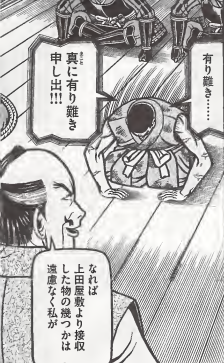
我らに殿を
忘れる事など
とても……

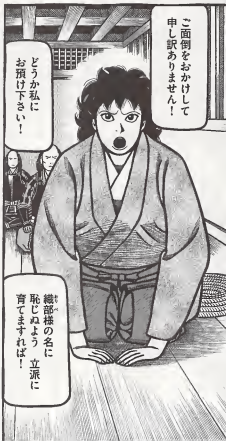


されど我ら一同
運命を共にさせて
頂きたく!

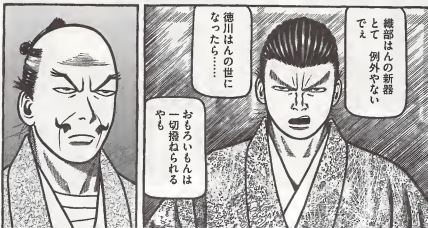
たとえ流浪の
身になろうとも
!



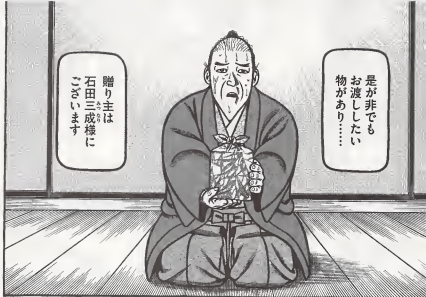












是が非でも
お渡ししたい
物があります……

贈り主は
石田三成様
でございます



以前織部助様が
三成様に贈られた
茶入にて……

割れた物を
三成様の図案を
元に繕いました

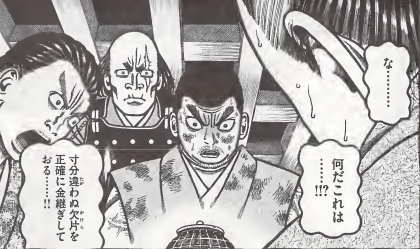


何故に!?

兄・正澄の花入
なら 突き返し
たぞ!!







な……

何だこれは
……!!!

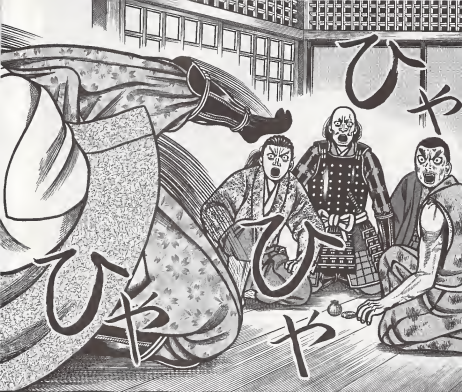
寸分違わぬ欠片を
正確に金継ぎして
おる……!!!



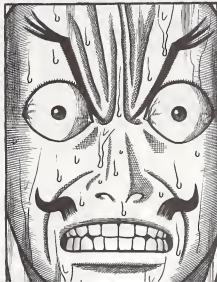
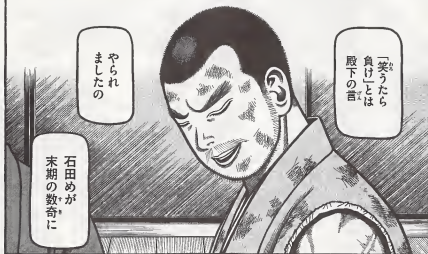
小茄子茶入を
……

壺の波にでも
例えたというか
……!!!











同年10月下旬
島津義弘居城
(鹿児島県鹿兒島市)

薩摩国
上山城

さきやういふやう
こわす

よか！

ん！
よか！

よか！

よかね！

じゃっどん
義弘様……



命懸けで
攫うてきた
お宝を返すわ！

小堀は
おいのもんで
ごわす！



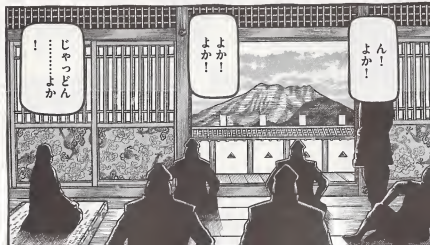
お宝を返すわ！
お宝を返すわ！

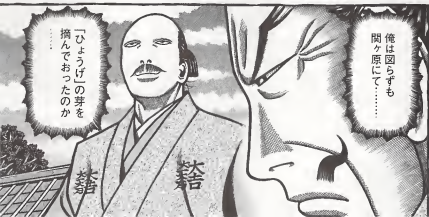
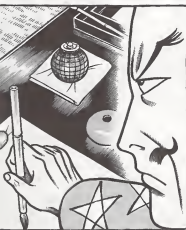


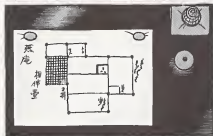
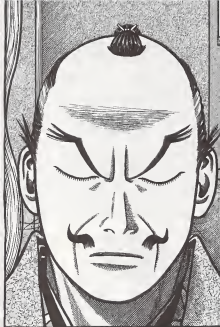
小堀は徳川方の
大事な人質
お宝を返すわ！

あの
織部助の高弟
お宝を返すわ！

手出しは嚴禁に
しもんぞ

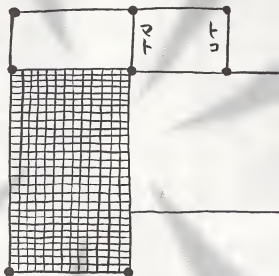






燕庵

相伴畳



刀掛



第十五服終

『へうげもの』第15回は「モーニング」'12年4・5合併号、7号、9号、11号、15号、17号、19号、21号、24号、26号、28号に掲載された作品を収録しました。
編集部では、この作品に対する皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。
また、「モーニングKC」にまとめてほしい作品がありましたら、編集部までお知らせください。

〈あて先〉

〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21

講談社 モーニング編集部「モーニングKC」係

なお、お送りいただいたお手紙・おハガキは、ご記入いただいた個人情報を含めて
著者にお渡しすることがありますので、あらかじめご了解のうえ、お送りください。

★この作品はフィクションです。実在の人物、団体名等とは関係ありません。

モーニングKC-2128

へうげもの 15

2012年7月23日 第1刷発行（定価はカバーに表示しております。）

著 者	ヤマダ ヨシヒロ 山田芳裕 ©Yoshihiro Yamada 2012
発行者	清水保雄
発行所	株式会社 講談社 〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21 電話 編集部 東京(03)3945-9155 販売部 東京(03)5395-3608 業務部 東京(03)5395-3603
印刷所	大日本印刷株式会社
本文製版所	豊国印刷株式会社
製本所	誠和製本株式会社
装 丁	シマダヒデアキ(Local Support Department)

講談社

- 本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。
- 落丁・本・乱丁本は購入書店名をご明記のうえ、小社業務部あてにお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。なお、この本についてのお問い合わせはモーニング編集部あてにお願いいたします。

茶々 Cha cha

Hyouge Mono 人物烈伝 其ノ八

永禄十二(1569)年、近江國小谷生まれ。実父浅井長政、伯父織田信長、継父柴田勝家と庇護者をことごとく失った数奇なマダムトヨトミ。夫秀吉にも死別、遺児秀頼と豊臣の灯を守るかどうか。



「良い子良い子」と
頭を撫でておく
のじゃ

誰れが勝ったとて
秀頼を無下には
できぬ

そうして秀頼が
大きくなった暁
には……

Shigechika Kanamori 金森重近

天正十二(1584)年生まれ。祖父長近、父可重より数奇武将の魂を受け継いだ駿馬。同世代の小堀作介とおすぎとピーコのタッグを組み、織部リスペクターとして桃山の世をポップに生きるか。



そうねえ……

兵糧で菓子も
持ってきたから
……

伏見鶴屋の練羊羹
なんて 風流で
良いかしら……



徳川秀忠 Hidetada Tokugawa

天正七(1579)年、遠江国浜松生まれ。剛毅で無骨な性格、数奇を解さぬ実質本意は父家康譲り。織部にもらった茶杓をへし折ったシーンは象徴的。華々しい初陣を飾るハズの関ヶ原に遅参も、家督継承は確定的か。

'13年新春、目出度く

へうげモノ ①6

江戸時代突入!!

発売予定にて候!!



cro-magnon × Ryouge Mono 乙

7.25 wed. On Sale! 定価2千円(税込)

発売元 / JAZZY SPORT

販売元 / ラストラム

TEA FOR UNIVERSE, TEA FOR LIFE.

Hyounge Mono

15^{周年}
KODANSHA

ラインガッツ / AKB48 2011

WOW WAR TONIGHT

～時には起こせよムーヴメント
The Stardust Memory / 小森今日子 1984

ニニヤム / くるり 2000

Forget-me-not

リンダリンダ / THE BLUE HEARTS 1985

宝くじは買わない / RCサタセ / ヨシ 1970

ほくたちの失敗 / 森田童子 1975

Boris the Spider / The Who 1966

九月の雨 / 本田精義 1977

トリッパー / 岡田民生 2005

〔モーニング公式サイト〕<http://morningmanga.com>
〔へうげもの公式ブログ〕<http://hyouge.exblog.jp/>
〔へうげもの公式Twitter〕[@hyougemonot](#)
〔へうげもの公式Facebookページ〕[@へうげもの](#) / Hyouge Mono

2128

HYOUGEMONO SINCE 2005

MORNING KC